



Beyond KUSS , 2022 !!



4月も折り返し地点

4月15日、明日から4月も後半になります。2週間前は満開だった校内の桜も、今はまったく異なる景色です。時間は着実に経過します。

同じ桜の木でも枝により咲きぐあいは異なります。同じ枝であっても異なります。「みんなまったく同じ」ということは、普通ありません。8回

生109名の卒業後のステージも同様です。同じように見えても、ひとりひとりのステージは異なります。他の人と比較し、自信をなくしたり、安心したりするのは危険です。

大きな方向性として8回生全員が大学受験に歩んでいることは間違いありません。そのなかで自分自身のルートをしっかり意識しましょう。遠回りに感じて、実は確実なルートはいっぱいあります。先生方のアドバイスに耳を傾ける姿勢は大切です。

不安や心配がある人は、先生方と十分に相談するようにしてください。



第1回進路希望調査

第1回進路希望調査を実施しました。集計結果(概略)は裏面に掲載しています。昨年度も同時期に進路希望調査を実施していますので、参考のために掲載しています。1年前の今の時期は臨時休業期間になります。みなさんはどのように過ごしていただでしょうか。新型コロナウイルス感染症の状況は1年経過した現在も予断を許しません。

8回生の特徴はあるでしょうか。

1 10名以上の志望者がいる大学は4校、京都30名、神戸20名、大阪16名、東京11名。7回生も4校ですが微妙に異なります。大阪25名、神戸19名、京都17名、東京10名。京都が増え、大阪が減っています。

2 国公立大学志望率は90%。7回生の73%よりも17%増えています。

3 特定大学への集中。上位4校志望者は77名、学年の71%を占めます。7回生の53%よりも18%増えています。

4 医学科についても3名⇒12名と増えています。

関西圏は全国でも有数の国公立大学充実地域です。国公立大規模総合大学(医学科もあり、文理ともに多くの学部のある大学)が4校(神戸、京都、大阪、大阪市立)あります。人口規模が倍の東京圏には2校(東京、千葉)のみです。そのため、関西在住の受験生は関西圏の国公立大学で豊富な選択肢があります。これはたいへん恵まれている状況です。

本校は「神戸大学レベル以上の大学で学ぶことができる力」を育成することもめざしています。これは「受験を突破する力(教科・科目の力)」と「大学での学びに対応できる力(探究の力)」の両面があります。8回生はこれらを身につけ、チャレンジするに値する生徒です。自信をもって歩いていきましょう。不安を数え始めるとキリがありません。それよりも自分が取り組んでいる学びを大切にしましょう。できていないことを心配するより、できていることを契機として、チャレンジできる卒業生をめざしましょう。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS , 2022 !』の内容について、SNS等webへのアップや無断使用しないようお願いします。

第1回進路希望調査集計結果

省略

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS, 2022!』の内容について、SNS等webへのアップや無断使用しないようお願いします。